

## 9. 福島県立医科大学医学部（公立） FUKUSHIMA MEDICAL UNIVERSITY

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

<http://www.fmu.ac.jp>

電話024-547-1093

FAX024-547-1989

e-mail : [gakuseik@fmu.ac.jp](mailto:gakuseik@fmu.ac.jp)

### 1. カリキュラム全般について

- A. 一般教育（教養）と専門教育との関係：
- 1) 学則上は一般教育（教養）部門を独立して設けている。
  - 2) 一般教育（教養）の学習は1、2年生のみで行われる。
  - 3) 専門教育（準備教育は除く）の学習は1年生から開始する。
- B. 教授会は一般教育（教養）と専門教育とで常に合同で開催される。
- C. 学生や教員や地域住民などに対し、医学部・医科大学としての一般目標や理念が印刷物や看板・ホームページなどのメディアで示されている。
- D. 学生や教員が学習内容を予め知ることができるように、授業科目の学習目標（一般目標や行動目標）、授業内容、担当者などを印刷物（シラバス）ですべて示してあり、その印刷物を教育要項という。
- E. 4年生大学既卒者（学士編入生）は卒業学部にかかわらずすべて1年生に入学する。
- F. 1年生の入学時オリエンテーションは  
2日間合宿して行う。
- G. Early Exposure（医学教育の早い時期に医学・医療の場に接し動機づけを試みる教育）を行っている学年は1年生である。  
その期間と内容：1年生：4日間：早期ポリクリニック  
その期間と内容：1年生：13日間：臨床医学セミナー
- H. PBL/チュートリアル（小グループで行う問題解決型学習）が導入されている。コアタイムの時間は  
3年生は、平均して週3時間×年間5回である。  
自習用に割り当てられている時間は  
3年生は、平均して週1.5時間×年間5回である。  
チューターは主として基礎医学系の教員が行う。  
チューター養成のためのトレーニングプログラムや講習会などが行われている。
- I. 細胞・組織レベル、ないしは臓器系統別の統合カリキュラムをすべてにわたり採用している。
- J. 平成17年以降、大幅なカリキュラム改訂は、行われていない。なお、現行カリキュラムの特色は下記のとおりである。

- ・6年一貫らせん型カリキュラム  
（総合科学、生命科学・社会医学、臨床医学を緊密に行き来しながらの学習）
- ・常に地域社会を意識した、学外での活動を重視したカリキュラム

K. 今後のカリキュラム改訂は平成21年を目途に予定している。そのねらいは下記のとおりである。

- ・教養、基礎、臨床教育を関連づけ、必要な時に必要な教育ができるように配置。
- ・国際化に対応して、英語教育の強化。
- ・コミュニケーション教育の充実。
- ・地域を意識したコラボレーションの活用。
- ・新たな医療ニーズに対応したプログラムの新設。

L. 現在学内で、医学教育について検討されている事項は下記の点である。

- ・教育の評価について。

## 2. 選択制について

専門教科について選択制を採用してはいない。

## 3. 一般教育（教養）について

- A. 医学部医学科以外の学部や学科のある大学に伺います。  
一般教育（教養）の授業は他学部（他学科）の学生と一部が一緒である。
- B. 他大学との単位互換について認めている。
- D. 一般教育（教養）部門では一部が選択科目で、それは一般教育（教養）の約10%である。
- E. 平成19年新生で、高等学校などで「生物」を履修していない学生数は調査していないのでわからない。  
「生物」を履修しなかった学生に対して補習ないしは選択で授業をしている。
- F. 平成19年新生にはセンター試験が導入されていた。  
入学者のうち「生物」を選択していた学生は約47%であった。

## 4. 基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）配属について

- A. 学生が一時期、基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）に配属されるシステムがあり、全員が5年生の時に平均して1週30時間×7週間配属される。

## 5. 臨床実習（外来実習、BSL、クリニカル・クラークシップを含む）について

- A. 臨床実習前に、まとまった形で医療面接・診察技法（例：臨床実習入門など）の学習を行っている。  
（16日間）  
身体診察の学習に医師や学生以外の標準模擬患者（SP）を導入してはいない。
- B. 臨床実習の実施学年とその期間は（早朝や時間外は省略）  
5年の時、1週30時間で、32週間である。  
6年の時、1週30時間で、12週間である。
- C. 臨床実習科目は全科目を必修としている。
- D. 大学の附属病院以外の施設（国・公・私立病院や保健所・老健施設などでの実習、国内外を問わない）で臨床実習を行っている。  
その期間は全部で12週で、そこで行う実習科目は（地域医療）である。  
この大学外の実習の場合の交通費は学生が自分で支払う。
- E. クリニカルクラークシップは臨床実習を行うすべての科で導入している。
- F. 臨床実習のための手引書は印刷物として配布されていて、それにはスケジュール、到達目標、医行為の範囲、評価法が記載されている。
- G. 臨床実習の評価として各診療科ごとの評価基準があらかじめ学生に示されている。  
臨床実習の評価結果は合否（進級）の判定（総括評価）に用いられる。  
そして不合格になれば、再び全科の臨床実習を行う。
- H. 臨床実習中の学生の安全管理対策については  
保険制度に加入している。  
ワクチン接種を行っている。

6. 学生の海外における実習について

A. 学生の海外における実習は行っていない。

7. 評価について

A. 進級判定が行われるのは1年終了時、2年終了時、3年終了時、4年終了時、5年終了時である。

B. 成績の記録法は点数制を採用している。

C. 卒業判定のための試験は行われていて、それは講座ごとの試験である。

時期は9月から11月まで、期間は8週間（長期休暇期間を除く）である。

D. 6年生の10月以降には、総括講義（国試対策）が組まれている。

また、大学による国家試験対策のための特別な講義が組まれている。

E. 卒前教育に携わっている教員に対し、教育業績の評価が行われ、その評価を行うのは、学部長・学長である。

自己評価以外の評価結果は本人にフィードバックされる。

その評価結果は昇進などに関係しない。

F. 過去2年間に、卒前教育全体に対する第三者評価が行われることはない。

8. 教員について（医学部・医学科および大学院学生の教育を担当する教員）

A. 教員数（平成19年12月現在）

		教 養*	基 礎**	臨床***	附属研究施設	その他	合 計
常勤 (有給専任)	教 授	5	12	17	3		37
	准教授	5	6	13	2		26
	講 師	4	12	30	3		49
	助 教	1	17	75	6		99
	その他	0	2	9	1		12
	合 計	15	49	144	15	0	223

非常勤 (客員・無給を含む)	教 授						0
	准教授						0
	講 師	4	44	209	2		259
	助 教						0
	その他						0
	合 計	4	44	209	2	0	259

\* 教養の常勤者は医学部所属者のみに限る。総合大学で医学部所属者がいない場合は空欄とする。

\*\* 基礎は社会医学を含む。

\*\*\* 臨床は附属病院・分院を含む。

B. 常勤の教員の任期制の制度を取り入れていない。

C. 教員や臨床実習時の指導医の医療事故に対する対応策については、取り決められていて、何らかの保険制度に、全員が加入している。

9. 学生数（平成19年12月現在）

学 年	総 数		うち学士編入者数	うち今年度留年者数（今年度のみ）	うち休学者数	うち外国人留学生	
		うち女子人数					うち女子人数
1	80	23	0	0	0	0	0
2	80	34	0	0	0	0	0
3	85	33	0	0	0	0	0
4	79	34	0	1	1	0	0
5	79	38	0	1	1	0	0
6	79	33	0	2	2	0	0
合計	482	195	0	4	4	0	0

10. 平成19年4月（今年）の医学部受験状況（編入は含まず、1年生のみ）

受験者数313名、合格者数80名、倍率3.9倍

入学者数80名、（定員80名、うち推薦入学者数12名）

入学者の状況：現役39名、1浪19名、2浪15名、その他7名、

定員外に別試験で入学した外国人学生0名、

センター試験を導入している

センター試験で理科を何科目課しているか

2単科目

12. 平成18年4月（昨年）の医学部受験状況（編入は含まず、1年生のみ）

受験者数422名、合格者数80名、倍率5.3倍

入学者数80名、（定員80名、うち推薦入学者数10名）

入学者の状況：現役29名、1浪34名、2浪9名、その他8名、

定員外に別試験で入学した外国人学生0名、

センター試験を導入している

13. 平成18年（昨年）の1年生以外の編入学状況

B. 編入学者地域わくについて

地域わくは無い。

今後どのように考えていますか。

本学は、学士の編入学制度はありません。

#### 14. 授業時間配分

##### (1) 学期区分

学 年	学期制なし	学期制あり		総時間数		
		2学期制	3学期制	講義	実習	PBL/ チュートリアル
1		○		909		
2		○		721.5	163.5	
3		○		756	48	30
4			○	772.5	51	
5	○			24	1134	
6	○			60	360	

(アーリーエクスポージャーは実習時間数に含める。)

(2) 土曜日の授業（講義または実習）は全学年ない

(3) 時間配分の概略図（授業区分のブロック図）

新カリキュラム（総合）

1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
	A		A	D	C
					D
B	C			E	
		D			

(註) A：総合教育

B：総合科学系

C：生命科学・社会医学系

D：臨床医学系

E：臨床実習

15. 医学専門教育（専門課程）の教科別授業時間数

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
人文・社会科学	67.5		67.5
微分積分学	19.5		19.5
代数・解析学	21		21
統計学Ⅰ	19.5		19.5
統計学Ⅱ	22.5		22.5
発生生物学	22.5		22.5
遺伝学	19.5		19.5
細胞生物学	22.5		22.5
進化学	21		21
生物学実習		36	36
物理化学	22.5		22.5
有機化学	22.5		22.5
生命有機化学	21		21
生体の化学	22.5		22.5
化学実験		22.5	22.5
力学	21		21
電磁気学	19.5		19.5
原子物理学	21		21
医学物理学	21		21
物理学実験	18	3	21
自然科学実験法	21		21
基礎自然科学（物理学・化学・生物学）	10.5		10.5
英語Ⅰ A・B/Ⅱ A・B	84		84
英語Ⅲ A・B	45		45
ドイツ語・フランス語・中国語Ⅰ/Ⅱ	84		84
解剖・組織学Ⅰ	115.5	82.5	198
解剖・組織学Ⅱ	84	13.5	97.5
生理学Ⅰ	108	12	120
生理学Ⅱ	27	42	69
生化学・分子学	133.5	52.5	186
薬理学	75	27	102
免疫・微生物学	102	31.5	133.5
病理学	69	16.5	85.5
社会医学	114	39	153
循環器	48		48
消化器Ⅰ	30		30
消化器Ⅱ	21	12	33
呼吸器	28.5	13.5	42
腎・泌尿器Ⅰ	21		21
腎・泌尿器Ⅱ	30	3	33
内分泌・代謝・乳腺	40.5		40.5
リウマチ・膠原病・アレルギー	28.5		28.5
血液・輸血	31.5		31.5
脳・神経Ⅰ	22.5		22.5
脳・神経Ⅱ	49.5		49.5
成長・発達Ⅰ	21		21
成長・発達Ⅱ	30	3	33
生殖・周産期	63		63
運動器	28.5		28.5
皮膚・形成	31.5		31.5
視覚	31.5		31.5
頭頸部・口腔	31.5		31.5
精神	31.5		31.5
放射線・画像	31.5		31.5
麻酔・救急	45		45
臨床検査	19.5		19.5

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
処方調剤	10.5		10.5
基礎上級	174		174
内科学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ		240	240
外科学Ⅰ・Ⅱ		160	160
小児科学		80	80
放射線医学		40	40
臨床検査医学		40	40
神経内科学		40	40
呼吸器内科学		40	40
脳神経外科学		40	40
整形外科学		40	40
心臓血管外科学		40	40
形成外科学		40	40
産婦人科学		80	80
眼科学		40	40
皮膚科学		40	40
泌尿器科学		40	40
耳鼻咽喉科学		40	40
神経精神医学		80	80
麻酔科学		40	40
処方調剤学		16	16
歯科口腔外科		4	4
輸血・移植免疫学		12	12
救急医学		40	40
病理学		40	40
地域・家庭医療学		0	0
総括講義	60		60
医療入門Ⅱ	24		24
体育実技	3	66	69
コンピューター演習	3	42	45
生命倫理	24		24
医療と法	22.5		22.5
心理学	24		24
医療経済学	24		24
早期ポリクリニック		15	15
医学セミナー	22.5		22.5
医学概論	9		9
スポーツと医学	24		24
人体機能学概論Ⅰ	19.5	3	22.5
人体機能学概論Ⅱ	22.5		22.5
臨床医学セミナー	22.5		22.5
臨床医学入門Ⅰ	22.5		22.5
臨床医学入門Ⅱ	21		21
看護学の基本	22.5		22.5
基礎特別講義	13.5		13.5
医学英語セミナー	18		18
チュートリアル	30		30
医療入門Ⅰ	175.5	22.5	198
合 計	3004.5	2310	5314.5

5年生は左の科目から年計480時間を選択実習

各学年における講義時間数、実習時間数について

	講義時間数	実習時間数	合計時間数
1 学年	715.5	139.5	855
2 学年	597	195	792
3 学年	690	144	834
4 学年	744	79.5	823.5
5 学年	198	1272	1470
6 学年	60	480	540
合 計	3004.5	2310	5314.5

**16. その他の教育内容**

独立した科目として授業が行われている科目：

医史学（選択必修）、人類遺伝学（臨床遺伝学）（必修）、医療福祉学（医療社会福祉学）（必修）、医学外国語（必修）、医療安全（必修）、医の倫理（必修）、緩和ケア（必修）、医療経済（必修）、プライマリ・ケア（必修）、家庭医学（必修）、臨床医学（必修）、医療保険（必修）

独立した科目として授業が行われていない科目：

医用（電子）工学、行動科学、医療情報学、高齢医学、在宅ケア・介護、人間関係学

**18. MD-PhDコースを設置していない。**